



2026(令和8)年2月例会ご案内

～上町台地北端「難波宮・大阪城」を歩く～



かつて河内湖と大阪湾を隔てていた半島の、上町台地北端部に栄えた難波宮跡と大阪城と、周辺の文化財を訪ねます。

日 時 令和 8 年 2 月 8 日(第2日曜日)

コ ース

大阪地下鉄森ノ宮駅(集合場所)～～森之宮神社～～越中井～～聖マリア
大聖堂～～難波宮跡～～大手門・多門櫓～～千貫櫓～～空堀～～
六番櫓～～桜門～～一番櫓～～梅林(昼食)～～極楽橋～～山里丸
～～天守閣・豊臣石垣館(一次解散場所・天守閣・豊臣石垣館自由見
学@1200円)～～JR 大阪城公園駅(解散場所)

印 トイレ所在地

◆ 行 程 : 約 5 km (ゆるやかな坂がある上町台地を歩きます)

◆ 集 金 : 「大阪城天守閣・豊臣石垣館」 入館料@1200円
は自由見学です。

◆ 服 裝 : 弁当、水筒、雨具など持参。歩きやすい靴・服装で

◆ 雨 天 中 止

前日の午後8時45分のNHKニュースの中の天気予報で、奈良県北部の午前中降雨確立60%以上であれば中止
不明の時は河本まで(携帯 080-6112-3406)

※当日会員は“当日会費”として一人500円をいただきます。

◆ 全員集合場所・時間：大阪地鉄 森ノ宮駅、東改札出口 9：30分

《交通機関の》案内》での方

◎近鉄奈良よりおいでの方

近鉄王寺	8：26発
竜田川	8：32〃
平群	8：35〃
元山上口	8：38〃
東山	8：40〃
萩の台	8：42〃
生駒	8：51着 (けいはんな線に乗換)
生駒	9：03発
森ノ宮	9：24着 (下車、東改札出口に集合)

近鉄奈良	8：37発快速
生駒	8：53着 (けいはんな線に乗換)
※けいはんな線ホーム上で 平郡組と合流	
生駒	9：03発
森ノ宮	9：24着 (下車、東改札出口に集合)

2026(令和8)年1月新春例会《1月11日》報告

～信貴山参拝と会食～

担当/山本・江見

当団は、朝から冷たい風が吹く中での例会となりました。生駒線組と王寺経由組が奈良交通信貴山下のバスの中で合流し信貴山に向かいました。

「信貴大橋」で下車し、会長の新年の挨拶と本日の案内をしていただく「信貴山観光ボランティアガイドの会」の方の紹介がされた後、ガイドの会の案内で2グループに分かれて出発しました。

本来の参道沿いにあって、子宝地蔵として親しまれた千体地蔵では、お地蔵さんと赤い前掛けの由来について説明がありました。仁王門では戦火に合い焼失したが秀頼が再建、大正時代にこの場所に移築されたとのこと。成福院(融通殿)の境内にある石室十三仏では平群町の指定文化財であることや初七日から三十三回忌までそれぞれの忌日にあわせて十三の仏さまが導くという十三仏信仰や生前に行う逆修についての説明が有りました。

本堂では扁額や欄間のムカデが彫られている由緒について、靈宝館では「信貴山縁起絵巻」の原本は奈良国立博物館に寄託されており、年に一度一巻が特別展で公開されていることや楠木公旌旗の花押墨書の真贋についてなどの話がありました。

この後は多宝塔・浴油堂から最終行程の妙蓮塚と尼公の墓をまわり開運橋を渡って大門バス停へ。ここでボランティアガイドの方の見送りを受け一路王寺へと向かいました。

王寺では「和食さと」で新年会を兼ねたランチタイム。会長の乾杯の音頭で今年1年の会員の皆さんの健康を祈念したあと楽しく歓談の時間を過ごし午後2時ころ解散しました。

皆さん寒い中お疲れ様でした。 (参加者20名)

今回は階段や坂道が多く、又寒風が強くて大変だったと思いますが、参加の皆さん全員頑張って完歩し無事終了することができました。皆さん、今年も元気で過ごしましょう！



会長挨拶



仁王門にて



本堂にて



⑥

ふるさと へぐり再発見



る屋根の先端部分を利用し
て築造されています。

現在は少し削られて橿円
形になっていますが、元は直
径約二一〇m、高三三〇mの円墳で
す。

この古墳の特徴は、主体部
の横穴式石室です。

石室は南に開口しており、
遺体を納める部分の玄室は
奥行き四、一m、幅は三mで、
高さは現状で三mあります。さら
に〇、五mはあります。玄
室への通路に当たる部分の

羨道は幅一m、長さは〇、五m
あります。

石室は小さな石材をドー
ム状に積み上げており、天井
石と呼べるのはありません。

これは穹窿状の石積みと
呼ばれるもので、北九州の初
期の石室の特徴をもつていま
す。近畿地方では珍しいもの
で、古式の横穴式石室として
著名なもの一つです。

玄室の床面付近では四角
いすみがはつきりしていますが、天
井に近づくにつれて角が取れ、
土遺物は知られていません
が、石室の形態により五世紀
の後半頃の築造といわれて
います。

この頃の横穴式石室でこ
れだけ保存状況の良いもの
は他にありません。

現在、石室の石積みがゆる
んでおり危険なため、所有者
の乾さんが入口の鍵を管理
しておられます。

最上部では丸くなっています。
古くより開口しておらず、出
土遺物は知られていません
が、石室の形態により五世紀
の後半頃の築造といわれて
います。

古い石室

椿井宮山塚古墳

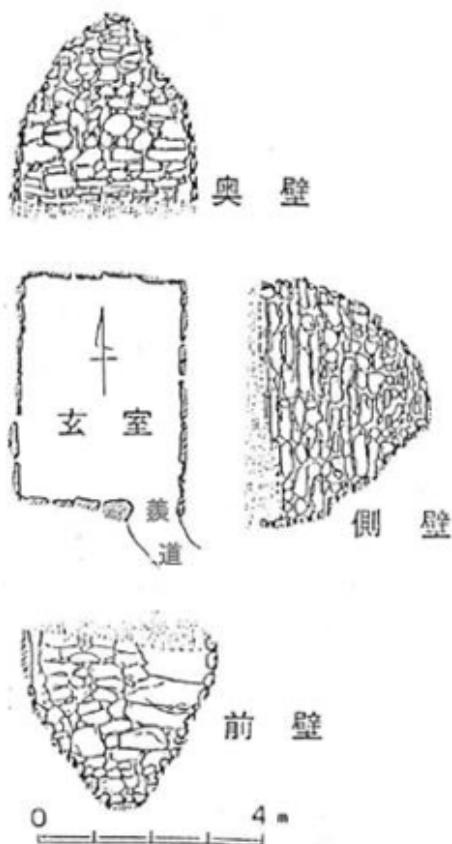
椿井集落を東へ登りつい

た所に春日神社があり、その
西側に小山があります。

これが春日宮山塚古墳で、
平群で最も古く造られた古
墳です。

矢田丘陵より南西に延び

椿井宮山塚古墳
石室実測図



みんなのひろば

『纏向地区 下見アレコレ!!』

2025年11月9日の例会「纏向地区をあるく」は、あいにくの雨で残念ながら中止となりましたが、それに先立ち、10月5日、毎回例会でコンビを組んでいる江見さんと2人で下見に行きました。今日はその下見でのあれこれご紹介します。

当日は午前10時ごろより雨の天気予報で、不安なスタートとなりました。

(その1)

近鉄生駒線王寺駅着8:58、JR王寺駅にて和歌山線奈良行き9:03発に乗り換え。乗り換え時間が5分しかなく駆け足で階段を上り陸橋を駆けて5番線ホームへ、足をもつらせながらもなんとか滑り込みセーフ。

目的地の巻向駅には9:47着の予定でしたが車内での二人の話が弾み、巻向駅を乗り過ごしてしまい、次の柳本駅も通り過ぎてようやく気づくあります。天理駅で折り返し、計画より30分ほど遅れて巻向駅に到着……下見でよかったです！

※王寺駅の乗換時間については、後期高齢者にはトイレ時間の余裕もなく少しキツイなということで、当初案の各駅発の時刻を一便早めに計画変更することにしました。下見って大事だなと実感！

(その2)

無人の纏向駅を出た所にある観光案内地図を見ていると、バイクに乗った警邏中の若いお巡りさんがバイクを止めて「観光ですか？」と話しかけてきました。怪しい男2人組と思われたのか？かも。こちらも渡りに船、お巡りさんに地区情報を色々教えてもらって大助かり。その中の一つ、「太田池（木製仮面出土）は何処ですか？」の問い合わせ、「あそこにある住宅地に変わってますよ」との返答。我ら2人「えええエツ…！」

(その3)

計画案の古墳群をグルッと回って12時過ぎ、巻向駅すぐ近くの太田地区遺跡にある公衆トイレの建物に着き、横のベンチで昼食。食べ終る頃ポツポツ、そして本格的な大雨。止むまでジッと待ってました……やっぱり。雨男はだれだ！

(その4)

最後に、纏向珠城宮跡伝承地の珠城山古墳に行きました。その3号墳のこと。狭い小道を30mほど登った所で私はへとへとで休憩。江見さんは上の岩室まで視察に行かれました。帰りの坂道は先ほどの雨に濡れていて滑りやすく、下りる途中最初に江見さんが足を滑らせて道横の藪の中に吸い込まれてビックリ。ケガが無くて一安心。その様子を見ていたのに、その後今度は私がドスン。二人とも靴・ズボンに泥土がべつとり。イヤハヤ最後に大変な締めくくりをした下見の一日でした。

(珠城山古墳は少し離れているので当初案の見学予定は中止することにしました)

下見の打ち上げは王寺駅近くの「屋台寿司」で締めくくりました。

あの時のビールは「うまかったな～!!」

«緑ヶ丘 山本 寛»

「みんなのひろば」原稿募集中!!

- ◎編集部では会員のみなさんの投稿をお待ちしています
(会対するご意見や要望、俳句・川柳・紀行文・日頃の生活など内容を問い合わせません)
- ◎河本まさご(携帯 080-6112-3406)連絡ください

2026(令和8)年3月例会予告

第56回 総 会

日 時:3月22日(日) 午前10時~12時

- ◎午後13時~14時30分 葛本講師による講演会
演題「中世龍田氏と龍田城」

場 所:総合文化センター/2F研究室(1A・1B)

※会場が例年と異なりますのでご注意ください

平群史蹟を守る会